

算数

小学校 第5学年

OS・ソフト等

- Chromebook
- Google Classroom
- Jamboard
- スプレッドシート

<単元・題材名等>

帯グラフと円グラフ

ねらい

帯グラフや円グラフの特徴とそれらの使い方や、一連の統計的な問題解決の方法を理解し、結論について多面的な考察を行うことができる。

主なICTの活用方法

- ・ Google スプレッドシートを活用し、児童がグラフを選択できるようにする。
- ・ Jamboard をノートとして用いることで、児童同士で意見を共有し合えるようにする。
- ・ ICT 端末を用いて評価問題を行うことで、児童の学習状況を把握しやすくする。

ICTを通じて育成する資質・能力

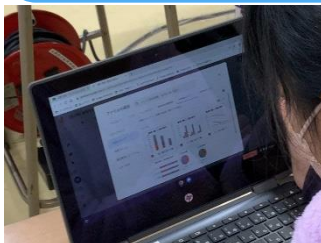
- ・ グラフを選択し、数値に着目した意見づくりを行うことで、根拠を明確にして説明することができる。
- ・ 児童間での意見の共有を行うことで、多様な考え方に触れ、統合的・発展的に考察することができる。
- ・ 作成した多様なグラフを比較することで、多面的な視点で資料の特徴について考察することができる。

実践の概要

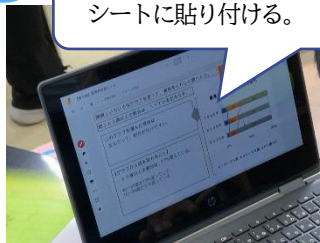
本実践は、第5学年算数科「帯グラフと円グラフ」の中で、ICT を活用し、根拠を基に筋道立てて説明する力、自他の意見と比較し、統合的・発展的に考察する力を高めることを目的としている。

単元を通して Chromebook を活用し、スプレッドシートを用いて資料をいろいろなグラフで表すことで、各グラフの特徴を比較し、問題に適したグラフを選択できるようにする。また、Jamboard をノートとして用いることで、作成したグラフを貼り付け、それを根拠にした意見づくりができるようにする。終末の場面では、評価問題を Jamboard で行い、付箋機能を用いて児童自らが本時の理解度について自己評価を行うことで、児童の実態を教師用の Chromebook ですぐに把握し、支援できるようにする。

児童の学びの様子



選択したグラフを学習シートに貼り付ける。

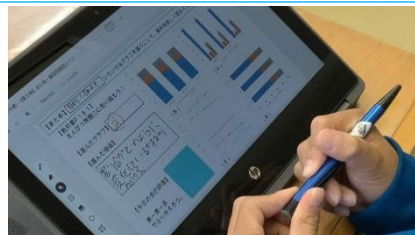


根拠となるグラフの部分や数値に注目して考察する。



- 様々なグラフ表現の中から、「60歳以上の割合が減っていることを表す」という目的に応じた適切なグラフを選択しようとする姿があった。
- 選んだグラフから、数値や着目したグラフの変化の部分の根拠として、割合が減っていることを考察する姿があった。

- 「他の場合でも目的に合わせてグラフを選ぶことで、資料を詳しく読み取ることができるのか？」と、発展的に考察できている。選んだグラフやその理由、本時の自己評価に率先して取り組む姿があった。



自己評価は、付箋の色で表現する。教師は、提出された色を見て個別に支援する。

指導のポイント

- 様々なグラフの中から「なぜそのグラフを選んだのか？」という選択の根拠や、「目的に対する結論を導くために、どの数値やグラフのどの部分に着目したのか？」という根拠に着目することを促す。
- 「他の場面でも同じように考えることができるのか？」と発展的な考察を促す。